

キャラクター名 [吹花撃柳]オルフェーヴル・チェスナット	プレイヤー名
---------------------------------	--------

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	6
サポートクラス	カンナギ	Lv.1:	グラディエーター	性別	女
称号クラス				年齢	16
種族	ヒューリン			境遇	放浪者
出自 (効果)	騎士			目標	人探し

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	20	17	8	8	9	14	6
ボーナス	6	5	2	2	3	4	2
クラス修正	1	1	1	0	1	1	1
他修正	1						
能力値	8	6	3	2	4	5	3

HP	81
MP	54
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ミスリルランス	至近	-1	11	0	0	0	-1	0
左手	ハードシールド		0	0	0	8	0	-1	0
頭部	サバイブ					12	5		
胴部	アンブレイカブルボディ+テクニカルガード					12	6		
補助	ラウールの補助鎧				-1	5			
装身具	人馬の蹄								
能力値			6	0	3	0	5	7	13
スキル			1	2		3	2		10
その他	神馬の鞍、人馬の蹄		2	1	1	1			18
総計(右)			8	14					
総計(左)			9	3	3	41	18	5	41
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
チャンピオンベルト	ポーションホルダー
ベルトポーチ	----- ↓ 収納 ↓ -----
バックパック	MPポーション×5
ランチボックス	----- ↑ 収納 ↑ -----
----- ↓ 収納 ↓ -----	冒険者セット
	調理用具セット
	戦士の環
----- 収納 -----	
現在重量： 15	
最大重量： 47	所持金： 649 預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーブブラッド	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果：	タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
バッシュ	3	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果：	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
ベスティア：エクウス	★	-	パッシヴ/仲間	-	自身	-	-	
効果：	素手の攻撃力+[CL+4]。常に「騎乗」状態化(パワー、スキル、アイテム、自分の意思などで解除できない)。【移動力】+10m							
カバーリング	★	2	DR直前	至近	単体	自動成功	防御中1回	
効果：	対象にカバーを行う。(行動済みにならない)							
カバームーブ	2	4	《カバーリング》	-	自身	自動	シールド回	
効果：	《カバーリング》を「射程：20m」に変更する。							
ボルトクスアタック	★	-	効果参照	-	自身	自動	カバリング回	
効果：	武器攻撃と同時に発動。「対象：単体※」となりダメージに+[SL*10]							
スマッシュ	1	5	マイナー	-	自身	自動	-	
効果：	白兵攻撃のダメージ+【筋力】							
AM：槍	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果：	槍を用いた命中判定+1D							
チャンピオン	★	-	アイテム	-	自身	-	-	
効果：	チャンピオンベルト(PSG:P282)を取得する。							
テクニカルガード	★	-	パッシヴ	-	自身	-	頭部/腕部未装備	
効果：	「種別：盾」の「物理防御力」+[CL]							
サバイブ	5	-	パッシヴ	-	自身	-	頭部/腕部未装備	
効果：	【物理防御】+[SL*2+5]、【魔法防御】+[SL]							
アンブレイカブルボディ	★	-	パッシヴ	-	自身	-	(サバイブ)SL5	
効果：	【物理防御力】【魔法防御力】+[CL]							
クリエイトチャーム	1	-	セットアップ	-	自身	自動		
効果：	「種別：呪符」のアイテムを1個購入できる							
リチュアルチャーム	2	-	アイテム	-	自身			
効果：	「価格：購入不可」の「種別：呪符」のアイテムを[SL]個獲得する							
	1							
効果：								

母は騎士の名家に生まれ、神童と囃されたものだった。大人でも数人がかりでやっと持てるほどの槍を振り回し、戦場に出れば一騎当千と謳われた戦乙女。名のある侯爵たちに求愛を受けながらも袖にする母が出した条件はただ一つ、「私より強い人」だけだった。

さてそのお眼鏡にかなう男が現れたのはある春盛りの日、決闘と称して乗り込んできたのはこの馬の骨とも分らない武骨な男。三日三晩に続く決闘の末、ついに母を組み伏した男はそのまま自らの背に母を乗せて愛の逃避行としゃれこんだ。そう、この男こそが父親であるベスティアだった。

「ヒューマニズ」 その存在を知ったのは物心ついて数年は過ぎたころ、父親が目の前で変身を解いた時だった。父と母は貴族と平民。ましてや人とベスティア、その結婚など到底認められるはずもない。しかし母はそれを下らないと笑って見せた。

「ああなんて息苦しい価値観。 私はただ自分より強い人が好みで、惚れた人と付き合っただけだというのが」
オフェーヴル

母が笑う。 その笑い声に合わせて揺れる金細工のような金髪がいつも羨ましかった。私の髪の毛は父に似たくすんだ栗茶色で、くせっけが強く朝は酷いことになる。 夕日が透き通るあの柔らかな髪色にいつも憧れていた。

「お家の追手に勤付かれたわ。 愛しい我が子、片付けるまでちょっと世界を見てきてちょうだい」

手のひらほどの麻袋に詰め込んだ金貨と共に、旅に出された。世間から見れば母と父の結婚はおかしいものなのかもしれない。だが本人たちはそのことをまるで気にしていない。ならば私にも、こんな私でも母のように愛せる誰かを見つけれられるだろう。

